

第23回消費者行動研究コンファレンス

プログラム

統一論題:「消費者調査の新手法」

日時: 2001年10月27日(土)~10月28日(日)

場所: 研究会会場 早稲田大学本部キャンパス
9号館5階大会議室および第1小会議室

懇親会会場 早稲田大学本部キャンパス
大隈会館2階

日本消費者行動研究学会

第1日目 10/27(Sat)早稲田大学本部キャンパス 9号館 5F 大会議室・第1小会議室

受付 9:30~9:55
開会の辞 9:55~10:00
副会長 和田 充夫(慶応義塾大学)

自由論題研究報告 10:00~12:15

第1会場早稲田大学本部キャンパス 9号館 5F 大会議室

『消費者の2段階選択ルールの識別 -GAと潜在クラス・ロジット分析の応用-』
水野 誠((株)博報堂)

『The Concept and Measurement of Perceived Sacrifice: An Empirical Study』
Md. Humayun Kabir Chowdhury(横浜国立大学)

『商品選択行動におけるレコメンデーションの効果』
高山 美和(松下電器産業(株))
里平 利彦(松下電器産業(株))
西尾 チヅル(筑波大学)

『Which Comes First, Product Category Knowledge Or Brand Knowledge?』
都 世蘭(KRN 株式会社)

第2会場早稲田大学本部キャンパス 9号館 5F 第1小会議室

『選好評価における情報の効果の定量化』
真柳 麻誉美(女子栄養大学)

『消費者調査手法としてのテキスト分析』
黒岩 祥太(現代文化研究所)

『インターネット時代の消費者行動
-百貨店のHPに対する顧客の反応を中心として-』
多田 應幹(千葉商科大学大学院)

『エスノグラフィカルな手法による「米飯」の調査事例
~経験価値と消費解釈をめぐって~』
森 一彦(大広ブランドデザイン)
白取 覚(株式会社大広)

『家計調査年報に見る所得格差と年代格差
-バブル経済は、階級社会を作ったか-』
松井 陽通(茨城大学)

昼食 12:15~13:15

JACS-SPSS 論文賞

13:15～15:15

『JACS-SPSS 論文賞に対して』

清水 聰(明治学院大学)

『情報探索活動とブランド』

坂下 玄哲(神戸大学)

『対話分析による顧客関係性モデルの構築』

坂本和子(横浜国立大学)

『ブランドのカテゴリー化に関する一考察』

徳山 美津恵(学習院大学)

『グローサリーのインターネット販売と消費者の反応』

新田 都志子(学習院大学)

『家計の金融資産選択行動の日米比較』

山下 貴子(流通科学大学)

中村 隆(統計数理研究所)

『JACS-SPSS 論文賞に対して』

村田 悦子(SPSS(株))

休 憩

15:15～15:30

統一論題テーマ提起

15:30～16:00

『消費者調査の新手法:進展の方向と消費者行動研究へのインパクト』

守口剛(立教大学)

統一論題研究報告(1)「消費者調査の新手法」

16:00～17:30

『サーベイ・リサーチの新展開』

野口秀樹

(リサーチアンドディベロップメント)

『ダイレクトリサーチの可能性』

朝野熙彦(東京都立大学)

懇 親 会

18:00～20:00

第2日目 10/28(Sun)早稲田大学本部キャンパス9号館5F大会議室

統一論題研究報告(2)「消費者調査の新手法」

10:00～12:15

『インターネットリサーチの可能性』

塚原 新一(ビデオリサーチ)

『インターネット視聴率データによる オンライン消費行動分析』

萩原 雅之(ネットレイティングス)

須藤 修司(ネットレイティングス)

『インターネットリサーチにおける携帯電話の活用』

平石 郁生(インタースコープ)

昼食(役員会)

12:15～13:45

会員総会

13:45～14:45

休憩

14:45～15:00

シンポジウム

15:00～17:00

『消費者調査の今後を展望する』

司会
パネラー

江原 淳(専修大学)

朝野 熙彦(東京都立大学)

山中 正彦

(味の素コミュニケーションズ)

阿部 周造(横浜国立大学)

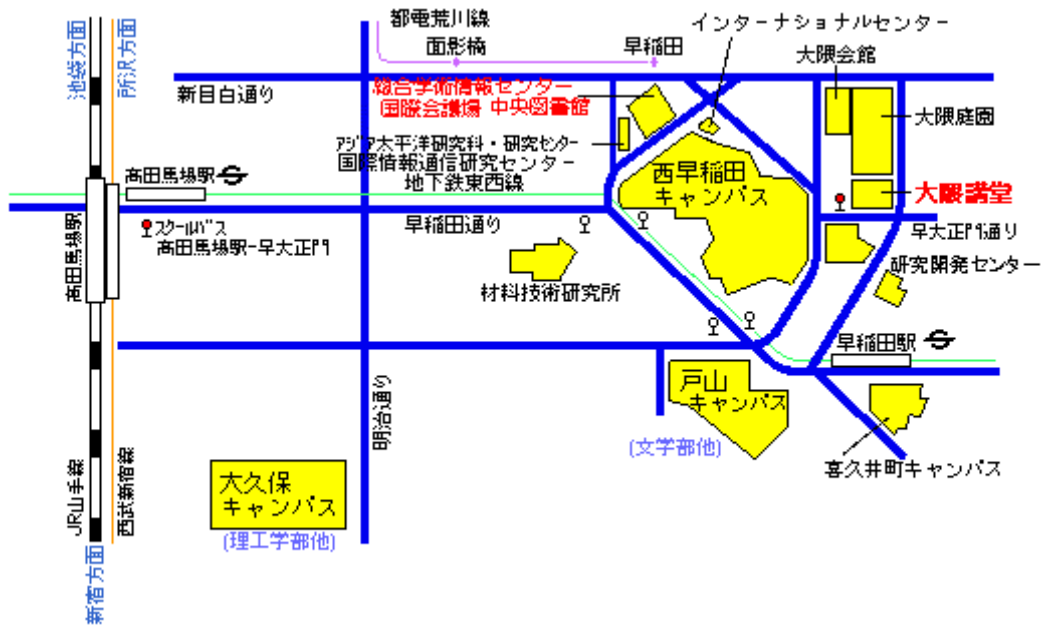
閉会の辞

17:00～17:05

会長 青木 幸弘(学習院大学)

J A C S
Japan Association
for Consumer Studies

[早稲田大学本部キャンパス案内図]



[早稲田大学本部キャンパス建物案内図]

